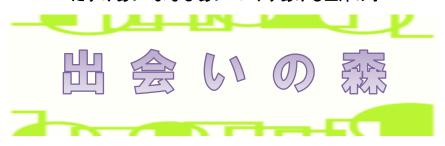
たすけあい まなびあい つくりあげる玉津の子



玉津小学校便り No. 4 (令和7年7月1日発行) 玉津小学校 検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

戦後80年

校長 廣瀬 尚美

今年は、1945年の終戦から8月で80年となり、「戦後80年」にあたります。

6月23日の沖縄の「慰霊の日」には、沖縄県糸満市の平和祈念公園で沖縄全戦没者追悼式が開かれ、小学6年生の児童が平和の詩「おばあちゃんの歌」を読み上げていたのが印象に残りました。児童は、戦争の当時5歳だった祖母が生き残ったが故のつらい経験から「あの戦の時に死んでおけばよかった」



という思いをもっているのを知り、「おばあちゃんが生きていてくれて本当によかった。生きていてくれて本当にありがとう」と伝えます。すると、「生き延びたから命がつながったんだね」とおばあちゃんが言ったそうです。詩は「人の命をうばい苦しめる戦争を二度と起こさないようにおばあちゃんから聞いた戦争の話を伝え続けていく。おばあちゃんが繋いでくれた命を大切にして一生懸命生きていく」と結ばれました。沖縄戦は、太平洋戦争の末期に約3ケ月続いた住民を巻き込んだ地上戦で、20万人もの犠牲があり、うち一般市民が9万4000人も含まれます。沖縄にはこのときに20万トンの砲弾や爆弾が降り注ぎ、今なお約1900トンが残るそうです。戦後、710人が爆発した不発弾で犠牲となり、すべてを処理するためには数十年が必要とされています。

毎年、8月は多くの戦争に関する情報を目にしたり、耳にしたりする機会が増えます。今年は特に多いかもしれません。戦争当時の体験を語れる人が減っていくなか、しっかりと耳を傾け、目を背けずに向き合いたいと思います。この80年間、戦争がなかったのは、過去の戦争に深く学び、平和を強く願い、平和を維持するための行動をしてきたおかげであることを忘れてはならないと感じます。

6年生は、8月6日には「平和をちかうつどい」に代表者が参加し、11月7日・8日には 全員で広島県へ修学旅行へ出かけます。戦争や平和について、考え、学ぶ機会としたいと思 います。

~カヤック体験~ ありがとうございました

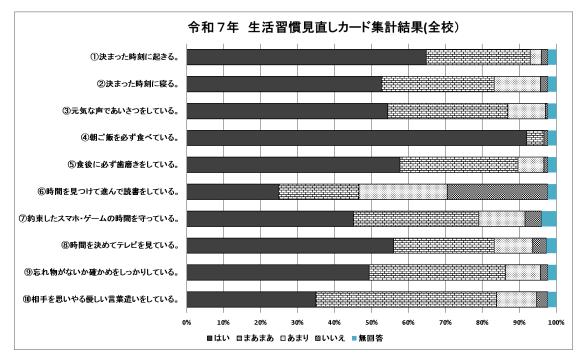
今年度のカヤック体験は梅雨入り後となってしまったため、一度は延期となりましたが、無事、12 日に実施することができました。実施にあたっては、講師の方、漁業協同組合や守山消防団玉津分団の皆さん、河西交番の方々、PTAの役員の皆さんに安全に活動できるように支えていただき、えり市さんには、駐輪場所やトイレなど安心して活動できるようにご協力くださいました。多くの方々のおかげで、充実した体験を6年生児童がすることができました。本当にありがとうございました。

玉津学区では、「玉津小学校6年生のカヤック体験をよい環境で実施する」を目的の一番目にあげて5月31日の赤野井湾クリーン大作戦を実施してくださったおかげで、自分たちの赤野井湾の良さを実感することができました。ありがとうございました。

カヤック体験は、守山市内では本校のみの取り組みで、県内でも数校しか実施していない特色ある活動です。子どもたちが、地域に支えられる実感とともに、愛着や誇りが持てる素晴らしい活動を支え、応援してくださり、ありがとうございました。



「生活習慣見直し週間」を振り返って



今年度も保護者の方のご協力のもと実施した第1回「生活習慣見直しアンケート」の結果は、上のグラフのようになりました。④はここ数年高い値となっています。多くの子どもたちが毎日しっかりと朝食をとれていることがわかります。⑥からは、読書の時間の確保が難しい実態が明らかとなりました。⑦⑧の値は、昨年度に比べ少しですが「はい」の割合が伸びています。ご家庭での意識づけが子どもたちに浸透してきているのではないかと思います。引き続き、子どもたちと使い方の約束を考え、守っていけるように支援していただけたらと思います。⑩については昨年度と比べて大きな変化は見られず「はい」の割合が低い状態です。人は話し言葉で物事を考えるという説があります。この説が正しければ、優しい言葉で話している人は、優しい言葉で考え、攻撃的な言葉で話している人は、攻撃的な言葉で物事を考えることになります。子どもたちには優しい言葉で物事を考えてほしいなあと思います。そのためには、我々大人も優しい言葉遣いを心掛けたいものです。

~ 保護者のみなさまのコメントを紹介します ~

- ・|日|日親子で振り返りをする良い機会になった。本人も読書やTVを見る時間を意識し始めたのが良 かった。「○○が終わったら読書する」「○○のTVだけ見る」という言葉が聞けた。
- ・近所の方に元気よくあいさつしている姿が見受けられ嬉しいです。
- ・ゲームやTVの時間が増えると読書の時間が少なくなる。帰ってきてからの時間の使い方を学年が上がったときに見直す必要があるなと思いました。
- ・基本早寝早起きを心がけて生活しています。今日も一日頑張ろうという意味で笑顔であいさつをするようにしています。夜は必ずTVを消して勉強に集中する時間をつくるようにしています。
- ・自分で時計を見て、時間配分をし行動するようになってきました。あいさつや身の回りの事などでも、自分で考えて行動に移しているなあと見ていて感じます。
- ・学校では読書タイムがあるので本を読んでいるが、家ではなかなか時間がつくれないため読めていない。たとえ10分でも読む時間を増やしていきたい。
- ·言葉づかいが気になります。
- ・相手を思いやる言葉づかいを身につけたい。
- ・週末になると、どうしてもゲームやTVの時間が増え、寝る時間も遅くなることが多いです。言葉づかいももう少し気をつけてほしいです。
- ...夜ご飯の後、必ずTVを消して勉強に集中する時間を作るようにしています